

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年5月10日(2007.5.10)

【公表番号】特表2003-503574(P2003-503574A)

【公表日】平成15年1月28日(2003.1.28)

【出願番号】特願2001-506734(P2001-506734)

【国際特許分類】

C 08 L	67/02	(2006.01)
B 32 B	5/18	(2006.01)
B 32 B	27/36	(2006.01)
C 08 F	265/04	(2006.01)
C 08 J	5/00	(2006.01)
C 08 K	3/04	(2006.01)
C 08 K	7/02	(2006.01)
C 08 L	25/12	(2006.01)
C 08 L	51/00	(2006.01)
C 08 L	69/00	(2006.01)

【F I】

C 08 L	67/02	
B 32 B	5/18	
B 32 B	27/36	
C 08 F	265/04	
C 08 J	5/00	C F D
C 08 K	3/04	
C 08 K	7/02	
C 08 L	25/12	
C 08 L	51/00	
C 08 L	69/00	

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月1日(2007.3.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】a) 成分Aとしての、1~99.59質量%の少なくとも1種のポリエステル、

b) 成分Bとしての、0.1~20質量%の、

b1) 成分Bに対して50~90質量%の、ガラス転移温度が0以下である粒子状グラフトベースB1と、

b2) 成分Bに対して10~50質量%の、

b21) 成分B21としての、成分b2に対して50~90質量%の芳香族ビニルモノマーと、

b22) 成分B22としての、成分b2に対して10~50質量%のアクリロニトリルおよび/またはメタクリロニトリルと、

から製造されたグラフトB2と、

から製造された、少なくとも1種の粒子状グラフトコポリマー、

c) 成分 C としての、0 . 1 ~ 2 0 質量 % の、

c 1) 成分 C 1 としての、成分 C に対して 5 0 ~ 9 0 質量 % の少なくとも 1 種の芳香族ビニルモノマーと、

c 2) 成分 C 2 としての、成分 C に対して 1 0 ~ 5 0 質量 % のアクリロニトリルおよび / またはメタクリロニトリルと、

から製造された少なくとも 1 種のコポリマー、

e) 成分 E としての、0 . 1 ~ 2 0 質量 % の、成分 A とは異なるポリエステル、

f) 成分 F としての、0 . 0 1 ~ 1 0 質量 % の少なくとも 1 種の造核剤および少なくとも 1 種のエステル交換安定剤 (但し、エステル交換安定剤に対する造核剤の質量比は、1 : 1 0 0 ~ 1 0 0 : 1 の範囲である。) 、

および、

g) 成分 G としての、0 . 1 ~ 1 0 質量 % の慣用的な添加物、

(但し、成分 A 、 B 、 C 、 E 、 F 、 G それぞれの質量 % の値は、成分 A 、 B 、 C 、 E 、 F 、 G の合計量に対するものであり、合計量は 1 0 0 質量 % である。) を含む成形用組成物。

【請求項 2】成分 F において、

造核剤が、粒子サイズが 0 . 1 ~ 1 5 μm である粒子状固体であるか、

エステル交換安定剤が、少なくとも 1 種のリン含有化合物であるか、または、

造核剤が、粒子サイズが 0 . 1 ~ 1 5 μm である粒子状固体であり、且つ、エステル交換安定剤が、少なくとも 1 種のリン含有化合物であるか、

のいずれかであることを特徴とする、請求項 1 に記載の成形用組成物。

【請求項 3】成形用組成物がさらに、

成分 H としての、成形用組成物の質量に対して 0 ~ 3 0 質量 % のポリカルボナート、および、

成分 I としての、成形用組成物の質量に対して 0 . 1 ~ 1 0 0 質量 % のファイバー、を含むことを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の成形用組成物。

【請求項 4】成分 A が、

a 1) 成分 A に対して 5 0 ~ 1 0 0 質量 % のポリブチレンテレフタラートと、

a 2) 成分 A に対して 0 ~ 5 0 質量 % の他の重縮合物と、

から構成されていることを特徴とする、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の成形用組成物。

【請求項 5】成分 B が、

b 1) 成分 B に対して 5 0 ~ 9 0 質量 % の、

b 1 1) 成分 B 1 1 としての、成分 b 1 に対して 7 5 ~ 9 9 . 9 質量 % の C₁ ~ C₁₀ - アルキルアクリラートと、

b 1 2) 成分 B 1 2 としての、成分 b 1 に対して 0 . 1 ~ 1 0 質量 % の、少なくとも 2 個の非共役オレフィン性二重結合を有している、少なくとも 1 種の多官能性モノマーと、

b 1 3) 成分 B 1 3 としての、成分 b 1 に対して 0 ~ 2 4 . 9 質量 % の 1 種以上の共重合可能な他のモノマーと、

から製造されている粒子状グラフトベース B 1 と、

b 2) 成分 B に対して 1 0 ~ 5 0 質量 % の、

b 2 1) 成分 B 2 1 としての、成分 b 2 に対して 5 0 ~ 9 0 質量 % の芳香族ビニルモノマーと、

b 2 2) 成分 B 2 2 としての、成分 b 2 に対して 1 0 ~ 5 0 質量 % のアクリロニトリルおよび / またはメタクリロニトリルと、

から製造されているグラフト B 2 と、

から構成されていることを特徴とする、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の成形用組成物。

【請求項 6】成分 H のポリカルボナートの、I S O 1 1 3 3 に従って温度 3 0 0 、負荷 1 . 2 k p において測定した溶融体積速度で表わした流動特性の値が、9 ~ 1 0 0

c m³ / 10 分であることを特徴とする、請求項 3 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の成形用組成物。

【請求項 7】成分 B が、

成分 B に対して 10 ~ 90 質量 % の、メジアン粒子サイズが 50 ~ 200 nm である小粒子グラフトコポリマーと、

成分 B に対して 10 ~ 90 質量 % の、メジアン粒子サイズが 250 ~ 1000 nm である大粒子グラフトコポリマーと、

から構成されていることを特徴とする、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の成形用組成物。

【請求項 8】請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の成形用組成物を含む成形体。

【請求項 9】i) P V 3 3 4 1 に従って測定した炭素放出量が 50 μg C / g より少ないとこと、

i i) D I N 5 0 0 1 1 / P V 3 9 0 0 に従って測定した臭気試験の結果がレベル 5 より良好であること、

i v) ピカーブ軟化点が 120 より高いこと、

v) 密度が 1.1 ~ 1.5 g / c m³ の範囲であること、

v) I S O 1 1 3 3 に従い、温度 275 、負荷 2.16 k p において測定した溶融体積速度で表わされる流動特性が、 10 c m³ / 10 分より大きいこと、

v i) I S O 1 7 9 / 1 e U に従って測定した衝撃強さの値が、 120 で 1000 時間熱老化処理した後に、熱老化処理前の値に比べて 30 % 未満の減少率であること、

v i i) D I N 5 3 4 5 7 に従い測定した破壊点伸びの値が、 130 で 1000 時間熱老化処理した後に、 2 % より大きいこと、

の特性のうちのひとつ以上を有していることを特徴とする、請求項 8 に記載の成形体。

【請求項 10】請求項 8 または 9 に記載の成形体および重縮合物フォームを含む積層体。

【請求項 11】請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の成形用組成物、または、請求項 8 または 9 に記載の成形体、または、請求項 10 に記載の積層体を再生利用する方法。

【請求項 12】請求項 8 または 9 に記載の成形体、または、請求項 10 に記載の積層体から得られる再生材料。

【請求項 13】請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の成形用組成物、または、請求項 12 に記載の再生材料を含む、自動車内部部品または自動車外部のボディー部品のための成形体。